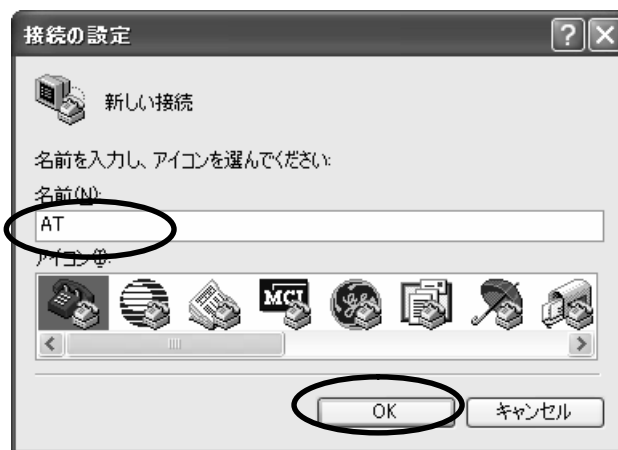


AT コマンドリファレンス

ユーティリティを使用するとパソコンから本製品の各種設定や制御を行うことができますが、いくつかの AT コマンドでも同様に各種設定や制御を行うことができます。

ここでは、Windows XP に付属の通信ソフト「ハイパーターミナル」を使って AT コマンドを入力する方法を説明します。他の OS または他の通信ソフトをお使いの場合は、以下を参考にしてください。

1. [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]と選択し、[ハイパーターミナル]を選択します。
2. 「接続の設定」の画面が開きます。[名前]に接続先の名称や通信方式などの分かりやすい名前（例：AT）を入力し、[OK]をクリックします。



3. 「電話番号」に適当な番号（例：1234）を入力し、「接続方法」で「EMOBILE D01NE Modem」を選択して「OK」をクリックします。



4. [キャンセル]をクリックします。



5. この状態で「AT」と入力して【Enter】キーを押し、「OK」と表示されたら設定は完了です。

入力した「AT」が表示されない場合には、画面に表示されませんが「ATE1」と入力して【Enter】キーを押してください。これ以降、入力したコマンドが表示されるようになります。



6. コマンド一覧表の AT コマンドとパラメータをスペースを空けずに入力して、最後に【Enter】キーを押すと、各種設定や本製品の制御を行うことができます。

例：ATE0【Enter】

AT+CGDCONT=1,"IP","abc.ne.jp"【Enter】

コマンド一覧表

AT コマンド	パラメータ	コマンドの説明	備考
ATE	0	コマンドエコーを<エコーバックなし>に設定する。	
	1	コマンドエコーを<エコーバックあり>に設定する。	工場出荷状態。
ATI	0	事業者名称(EMOBILE)を表示する。	
	1	製品名称(D01NE)を表示する。	
	2	ソフトウェアバージョンを表示する。	
ATQ	0	リザルトコードを表示させる。	工場出荷状態。
	1	リザルトコードを非表示にする。	
ATV	0	リザルトコードを数値で表示させる。	
	1	リザルトコードを文字で表示させる。	工場出荷状態。
ATZ		不揮発メモリに保存された内容に設定を戻す。	
AT&F		全ての設定を工場出荷状態に戻す。	
AT&W		現在の設定値を不揮発メモリに保存する。	
AT+GMI		製造者名称(NEC Infrontia)を表示する。	
AT+GMM		製品名称(D01NE)を表示する。	ATI1 と同じ。
AT+GMR		ソフトウェアバージョンを表示する。	ATI2 と同じ。
AT+CGSN		シリアル番号(15 桁の IMEI 番号)を表示する。	
AT+CNUM		EM chip に記録された加入者番号を表示する。	
AT+CGDCONT	=<cid>,"IP","<APN>"	<cid>番号(1~10 のいずれか)に、アクセスポイントとして<APN>(APN のアドレス)を設定する。	工場出荷状態では cid=1 の<APN>="emb.ne.jp" 設定例： AT+CGDCONT=1,"IP","abc.ne.jp"
AT+CGREG	=0	パケット・ネットワーク状態が変化しても状態を通知しない。	工場出荷状態。
	=1	パケット・ネットワーク状態が変化すると状態(0: 圏外、1: 圏内、4: 登録不明状態、5: 圏内)を通知する。	
ATD	*99***<cid>#	<cid>番号(1~10 のいずれか)のパケット・ネットワークへ接続します。	
A/		直前に実行したコマンドを再実行	
AT##EANT		電波状態(0: 圏外、1: 微弱、2: 弱、3: 中、4: 強)を表示。	